

英語

出題の傾向

長文問題・会話の問題・文法問題・文の書き換え問題・語句の並べ替え問題・語彙の問題・発音・アクセントの問題・英作文等様々な形式に基づいた出題となっています。中学校での既習内容を踏まえた標準問題がほとんどで基本的な単語・熟語・構文力を身につけておけば特に難しいものではありません。ただ、配点上、長文問題がかなりの点数を占めていますから、決められた時間内に長文を読み、その内容を理解する読解力が必要となります。

2018 今年度の出題と解説

① 長文読解問題

長文を読み、総合的な英語力を試す問題です。昨年は会話文、今年度はEメール文のやりとりを出題しました。「海外での日本人留学生の異文化体験」がテーマであり、話の流れを踏まえながら、英文の内容をていねいに把握できているかどうかを試す問題です。

問1 並べかえの問題ですが、本文の内容を理解し、現在完了形の構文を見抜いて並べ替えをしなくてはいけなかったのがかなり難しかったようです。また、Youから書き始めている答案が多かったです。

問2 日本語で答えるようにと指示があるのに、英語で答えている答案がありました。

問3 よくできていました。⑧のshockedをshockingとしている答案が時々ありました。

問4～問6 正答率は高かったです。ただ、問4のhad toを現在形のhave toにしている答案がありました。時制を確認しておけば正解していたでしょう。

問7 最頻出構文の一つ it...to～構文を把握して日本語に訳す問題です。構文はとらえているのですが完全に正解の答案は少なかったです。

問8 英問英答形式の答え方に慣れていない受験生が多く、文ではなく単語だけで答える受験生が多くありました。S（主語）＋V（動詞）をきちんと使って答えるようにしておいてください。また、（1）ではdidが抜けていたり、（3）では三人称単数のsがなかったりして減点につながった答案もありました。

会話文やメール文では、登場人物のそれぞれが何を発言し、どう話が展開しているのかを確認しながら読むことがとても大切になってきます。内容をメモ書きしてまとめておくこともいいでしょう。また、ちょっとしたミスで減点となってしまう部分がたくさんありますので、比較的短い文でも正確に読み取っていくことを身につけてください。

② 文の書き換え問題

昨年とほぼ同じ難易度の問題でした。（2）は and watchingにしている答案がありました。

（4）と（5）は、少し発想を変えて答える問題なので難しかったようです。

全体的に、じっくり考えればできる問題ですので、ケアレスミスをしないようにしましょう。教科書や問題集などを見て、同じような意味を表す文をまとめて整理しておきましょう。

③ 語句の並べ換え問題

全体的に低い正答率でした。（1）ではas many books asのところを books as many asとしていたり、（2）では to get thereのところを get to there としている答案がありました。また（4）では日本語につられてwhereで書き始めている答案も目立ちました。

これらの問題では、日本語を参考にどのような文法を問われているのかを考え、語を並べていきます。どれもが文法問題集等では典型的な並べかえ問題ですので、落ち着いて考えれば解ける問題です。ほとんどが学校で学習した文法からの出題ですので、各文法事項を確実に身につけ、応用できるように問題集を解いて慣れておくことが必要です。

例年、助動詞、不定詞、分詞、動名詞、完了形、比較、関係代名詞といった文法事項がよく出題されています。

④ 会話文の問題

会話の決まり文句ではなく、流れを把握しながら正解を選ぶ問題でした。全体的には良くできていました。こういった問題は、会話の状況をよくイメージすることが大切です。教科書や問題集などを参考にして、会話での決まり文句のような基本的な会話のやり取りを身につけておきましょう。

⑤ 語いの問題

基本単語を出題しました。(1)の November を Nobember、(2)の Tuesday を Tuseday、(3)の kitchen を kichenとしている答案が目立ちました。特に、(5)の castle は低い正答率でした。

単語の定義が英語で示されています。短い英語を正確に理解することが大切です。また、教科書に出てくる単語は意味を覚えるだけでなく、必ず書けるまで練習しておきましょう。

⑥ 空所補充問題

教科書レベルの基本的な文法力や語彙力を試す問題です。全体的によくできていました。典型的な空所補充問題ですので、教科書や問題集の例文などを見直しておきましょう。

⑦ ⑧ アクセント・発音の問題

基本的なアクセント・発音を出題しました。日頃、英文を読むときに発音を意識し、音読することを心がければ、この種の問題への対応がしやすくなります。

⑨ 英作文の問題

例年通り、条件を示した上での、自由英作文を出題しました。(1)では subject のつづりができていない答えや What do you like subject? にしている答案がやや目立ちました。(2)はよくできていました。

出来上がったら、日本語をもう一度良く読み、全ての日本語の英訳に訳し忘れないかをよく確認しましょう。また、疑問文なのでクエッションマークは必ず必要です。

解答例を見れば分かるように、決して難解な表現を問う問題ではありません。正確な英文をきちんと書けるようにしておくと共に、基本的な表現・語句がどのような状況で用いられるのか、日頃から意識して学習するようにしておきましょう。

対策と アドバイス

標準的な問題がほとんどで、教科書を中心に勉強しておけば対応できます。定期考査や実力問題で出題された問題を復習すると共に、教科書に出てきた単語、熟語、重要文を理解して、徹底して暗記しておいてください。また、文法のパターン練習が不足していると思われる解答が目立ちました。市販の問題集などで問題に慣れておくとも良いでしょう。長文問題の苦手な受験生は、まず教科書の英文を読み、その内容が確実に理解できるようにしておいてください。過去の問題集を解いて慣れておくことも大切です。最後に、英文に接する際には必ず小声でいいので、音読をする習慣を身につけておきましょう。そして、単語は必ず書いて覚える勉強法を実践してください。